

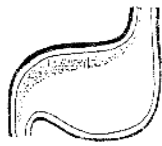
# 薬の服用時間

くすりの服用時間は「患者様側の状態」と「薬の性質」とによって決められます。多くの場合、「食後約30分」の服用が多いと思います。

それは食事という人間生活上必要な行為にあわせることによって飲み忘れを防ぐためのよい方法だと考えられているからです。

## 食前30分

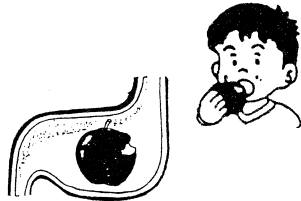
食事のおよそ30分前に服用



食物の影響を受けやすい薬や、食欲増進薬、吐き気止め等は食物が胃に入る前に服用します。

## 食直後

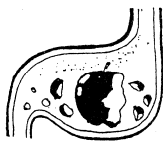
食事後直ちに服用



胃障害を生じやすい薬は、食物が胃の中にある時に服用します。食物が薬の刺激を緩和します。

## 食後30分

食事のおよそ30分後に服用



内服薬の多くは、食事のおよそ30分後に服用します。これは飲み忘れを防ぐためです。もし、飲み忘れるようでしたら食事のすぐ後でも結構です。

## 食後2時間

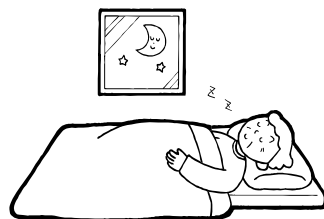
食事のおよそ2時間後に服用



薬の吸収が食物に影響されて減少するものや、胃粘膜を保護する薬は、胃内に食物がなくなった頃服用します。

## 寝る前

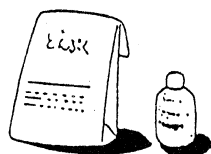
### 就寝およそ30分前に服用



排便を促す薬(便秘薬)、夜間の発作を予防する薬、睡眠薬等は就寝の約30分前に服用します。

## 頓服薬

### 必要に応じて服用



「頓服薬」は症状を一時的に改善する薬です。痛み止め、熱さまし、下剤、狭心症発作予防薬等があります。医師の指示を守り、すぐ効かないといって何回も飲むのは危険です。

## 「時間毎」の薬

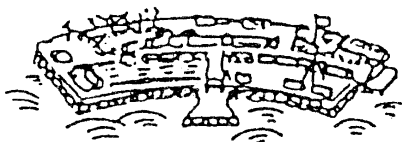
### 食事に関係なく一定の間隔で服用

食事に関係なく一定の間隔をあけて服用してください。

よく「胃が弱い」と言われる方がいますが、そういう方は特別の指示をのぞいて食後、食直後の服用がよいでしょう。食べ物が胃の中にあると食べ物が胃の中で膜をつくって薬が直接胃粘膜に作用しないようになるのです。

いろいろ薬の性質、患者様の状態で服用時間を決めるのですが、要は確実に服用することが何よりも大切なのです。特別の薬を除いては飲み忘れた時は、食事に関係なく間隔を空けて服用してください。しかし、飲み忘れたからといって一度に2回分、3回分飲むような事は絶対やめてください。

服用していておかしいと思ったら、服用をやめて来院してください。



長崎市立市民病院

薬剤部

長崎市新地町6-39

TEL822-3251